

第 3 回 宮崎県 沿道修景美化推進検討委員会

< 参考資料 >

これまでの検討委員会・地域ワーキンググループにおける意見の総括

第 2 回検討委員会の結果について

第 2 回地域ワーキンググループの結果について

平成 28 年 7 月 25 日

これまでの検討委員会・地域ワーキンググループ における意見の総括	1
第 2 回検討委員会の結果について	3
第 2 回地域ワーキンググループの結果について	9

宮崎県 県土整備部 道路保全課



これまでの検討委員会・地域ワーキンググループにおける意見の総括

課 題	意 見
<p>交通の流れと玄関口の変化への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空港や高速自動車道IC、港湾等、交通の玄関口となる部分是最優先で沿道修景に取り組むべきである。 ・ 観光ルートの移り変わり等も考慮し、観光地との融合性を意識した沿道修景を計画していくことが望ましい。 ・ 路線としての景観を磨き上げる形での、観光ルートの設定等も検討して欲しい。 ・ 観光地間を移動する車から見る沿道修景により、観光地同士がつながっているというイメージを持たせられると良い。 ・ 地域において個性的な景観づくりや新たな魅力づくりに取り組んでいるところでは、それを活かした沿道修景も必要である。
<p>維持管理費の増加と交通安全面の懸念</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に目がいきやすいところに、十分に手が行き届いていないのが問題である。 ・ 安全管理の視点と、沿道修景の視点を、バランス良く両立させていくことが課題である。 ・ 新たに何かを作るだけでなく、今あるものをうまく生かす沿道修景を推進して欲しい。 ・ 地域の自然景観や、地域の暮らしに根ざした原風景を活かした沿道修景を行っていくことが望ましい。 ・ 地域の特性を最大限に活かし、地域ならではの風景を表す具体的な表現を盛り込んだ修景コンセプトを設定して欲しい。
<p>地域におけるニーズの多様化への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を盛り上げて、沿道修景への参加を促していけるような方針を示して欲しい。 ・ 観光客だけでなく、地元にも目を向けた目標や方針を示して欲しい。 ・ 協働の枠組みは、既存の取組やプログラムを活用し、地域住民が参加しやすいものとするのが望ましい。 ・ 地域のイベントや学校との連携等も、協働に人を呼び込むためのポイントとなる。 ・ 地域でできることとできないことがあるので、行政のサポートを得ながら取り組んでいきたい。 ・ 協働や担い手の質を向上させる取組として、「沿道修景アドバイザー制度」を構築してはどうか。

第2回 宮崎県沿道修景美化推進検討委員会の結果について 意見取りまとめ (H28.2.10)

テ ー マ	ま と め	対 応 方 針
1. 基本目標・基本方針	<p>基本目標・方針は、わかりやすい言葉の中にこれからの沿道修景の考え方が表れたものとして欲しい。</p> <p>基本目標・方針の背景にある理念、視点などを、具体的な言葉で表現して欲しい。</p>	<p>宮崎県の沿道修景美化の本質について整理し、変わらず受け継いできた理念と、これから目指していくことの両方を、わかりやすく伝えるための基本目標・方針を設定する。</p>
2. 推進路線についての考え方	<p>推進路線の設定、新規追加等については、おおむね了承する。</p> <p>推進路線の設定にあたっての、考え方の整理が必要である。</p>	<p>推進路線については、観光振興や交通ネットワークなど、様々な視点を踏まえた上で設定する。</p>
3. 修景コンセプト	<p>修景コンセプトの設定については、おおむね了承する。</p> <p>修景コンセプトには、地域の風景を思い浮かべられるような具体的な表現を取り入れて欲しい。</p>	<p>地域の特性を表す表現を盛り込んだ、路線の具体的なイメージを浮かべやすい修景コンセプトを設定する。</p>
4. 地域WGでの議論	<p>地域WGでは、具体的な維持管理の視点だけでなく、地域住民自身がこれから自分たちの地域をどうしていきたいのかといった視点からも、意見を求める必要がある。</p> <p>地域にはたくさんの景観資源が眠っており、それらを発掘し、目に見える形にしていくことが重要である。</p>	<p>基本計画の中に地域の意見を幅広く反映させるため、地域WGの中で求めたい意見について、テーマを整理する。</p> <p>地域の隠れた景観資源について地域WGで意見を伺い、それらを発掘し、活用する方法について検討する。</p>
5. 県民協働のあり方	<p>県民との協働の方法について、具体的に示す必要がある。</p> <p>協働の枠組みは、既存のプログラムや取組を生かしたもの、住民や企業が参加しやすいものが望ましい。</p> <p>協働・担い手の質を向上させる仕組みとして、「沿道修景アドバイザー制度」を検討してはどうか。</p>	<p>県民協働による沿道修景美化については、以下の基本的な考え方の下で、今後の方針を基本計画に盛り込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の取組と、地域がやろうとしていることを尊重し、それを行政が費用面、技術面等でサポートできるような仕組みとする。 ・ 既存の制度（クリーンロード等）との連携、活用を検討する。
6. 基本計画策定後の取組	<p>基本計画を策定し、その後どう取り組んでいくのかを具体的に示して欲しい。</p>	<p>基本計画策定後の取り組み方について、事務局としての考え方と流れを整理する。</p>

第2回 宮崎県沿道修景美化推進検討委員会 テーマ別意見取りまとめ (H28.2.10)

項目	意見	助言・回答	まとめ
1. 基本目標・基本方針について	基本方針や対応方針等、スローガンとしては良いがぱっと見てイメージがわきにくい。 <u>ワーキング意見等を踏まえ、わかりやすく示して欲しい。</u>		基本目標・方針は、わかりやすい言葉の中にこれからの沿道修景の考え方が表れたものとして欲しい。 基本目標・方針の背景にある理念、視点などを、具体的な言葉で表現して欲しい。 宮崎県の沿道修景美化の本質について整理し、変わらず受け継いできた理念と、これから目指していくことの両方を、わかりやすく伝えるための基本目標・方針を設定する。
	「 <u>おもてなしの道づくり</u> 」などの視点が基本目標のキーワードと考える。	「おもてなし」は沿道修景美化のそもそもの目的でもあり、今後の目標の中心となる視点でもある。	
	「 <u>美しい宮崎づくり</u> 」とは、 <u>県土美化条例</u> などの中でも使われるような県としての大きなテーマなのか。	「美しい宮崎づくり」は決まっている言葉ではないが、 <u>県土美化条例</u> ともつながる言葉であるため、十分検討していきたい。	
		<u>「美しい宮崎づくり」は、県土美化条例の中でも中心となる言葉であり、今後打ち出していく目標として考えている。</u>	
	「美しい宮崎づくり」の <u>美しいとは何を指しているのか</u> 、考え方を明確に示す必要がある。	「美しい宮崎づくり」の美しいとは、 <u>人工の美しさではなく、宮崎の豊かな自然環境のこと</u> を指している。沿道修景の目的は、道路を植栽で飾ることではなく、 <u>道路の背景の美しい自然景観を際立たせるために、道路の景観を整えること</u> であり、道路空間と自然環境を合わせたものが沿道空間である。	
	<u>沿道修景の先駆者</u> として、日本だけでなく海外へも発信し、 <u>海外から勉強に来る</u> ようなものにして欲しい。		
	基本目標や基本方針は、 <u>言葉の奥に理念が表れたもの</u> でなければならない。	基本目標や基本方針の考え方を補完するための説明を盛り込みたい。	
	グローバルな視点から高い目標を立てたとき、 <u>50年先を見据えどう実現していくか</u> が重要である。		
	沿道修景については <u>宮崎がリーダーシップを担う</u> という気持ちが重要である。		
本県の沿道修景は、 <u>岩切氏が作りあげた観光の歴史から新たな時代への過渡期にある</u> 。高い目標のもと、 <u>宮崎の沿道修景の歴史とコンセプトを発信</u> していけると良い。			

第2回 宮崎県沿道修景美化推進検討委員会 テーマ別意見取りまとめ (H28.2.10)

項目	意見	助言・回答	まとめ
1. 基本目標・基本方針について	宮崎らしい個性のあるおもてなしやPR方法とあるが、 <u>宮崎らしさをどのように表現するのか。</u>		
	細かい部分に注目しすぎると、大きな視点からの意見が抜けてしまう。	ワーキングと委員会を進めていく中で、大きな方向性が定まっていく。	
	「 <u>宮崎のひなた</u> 」を、沿道修景でどう表現するのかを考える必要がある。		
	細かい部分の意見は、 <u>地域の目線からの小さな気づきの表れ</u> であり、それを大きな視点に反映させていく必要がある。	大きな意見も小さな意見もつながっている。 <u>5年後、10年後の未来を見据えた、理念と具体性を備えた基本計画</u> とする必要がある。	
	基本計画の中で理念を示し、伝えていくことで、 <u>企業の参画や地域貢献を促進</u> していけると良い。		
	基本計画、対応方針の中には、「 <u>樹木特性</u> 」を生かすという言葉盛り込んで欲しい。		
	基本方針の「 <u>新たな視点</u> 」を、「 <u>新たな価値</u> 」などもう少し <u>具体的な言葉で表現</u> できると良い。	基本目標や基本方針の考え方を補完するための説明を盛り込みたい。	
	おもてなしとは、 <u>観光客のためだけでなく、県民の心やくらしの豊かさにつながるもの</u> であるべき。		
	イギリスで生まれたナショナルトラストのような、 <u>世界に誇れる仕組みを宮崎で作るという気構え</u> が重要である。		
	宮崎ではじまった沿道修景に、それを <u>協働で行うことによって新たな価値が生まれ</u> 、わざわざ見に来る人が現れる。		
戦術と戦略をもって取り組む必要がある。沿道修景認定団体を設立するなど、世界に向けた発信を考えていく時期に来ている。			

第2回 宮崎県沿道修景美化推進検討委員会 テーマ別意見取りまとめ (H28.2.10)

項目	意見	助言・回答	まとめ
2. 推進路線について	対応方針の中の除草のあり方など、具体的にはどう整理していくのか。	路線ごとの除草の回数など、最終的には基本計画の中で示したい。 <u>維持管理の見直しで浮いたコストで、除草を充実させたい</u> と考えている。コスト面の検討を行い、第3回検討委員会で示したい。	<p>推進路線の設定、新規追加等については、おおむね了承する。</p> <p>推進路線の設定にあたっての、考え方の整理が必要である。</p> <p>推進路線については、観光振興や交通ネットワークなど、様々な視点を踏まえた上で設定する。</p>
	観光を意識した設定となっており評価できる。予算面も含めて、 <u>持続可能な維持管理ができるよう選択と集中</u> が必要である。	推進路線の中で本当に力を入れる必要がある箇所を見極め、 <u>維持管理に大胆な強弱を付けて</u> いきたい。観光振興は沿道修景の当初からの基本的な目標であり、今後も継承していく。	
	中山間地の支援という考え方から推進路線を追加できないか。小林市須木のすきむらんど、美郷町南郷区の百済の里、木城町のえほんの郷、日向市東郷町の牧水公園など、 <u>地域で修景に力を入れているところは多い。</u>	<p>視点は理解するが、推進路線に指定をしなくても、整備をしていく路線はあるため、それと同様に考えている。</p> <p>推進路線になると植栽地区を設置することができる。植栽地区の追加のほかに既設の地区の削減もあり、地域WGの中で考えていきたい。</p>	
3. 修景コンセプトについて	修景コンセプトは、 <u>地域の人々が路線の風景を思い描けるような言葉</u> を練り上げて欲しい。 <u>地域を表す言葉</u> が入っていると良い。		<p>修景コンセプトの設定については、おおむね了承する。</p> <p>修景コンセプトには、地域の風景を思い浮かべられるような具体的な表現を取り入れて欲しい。</p> <p>地域の特性を表す表現を盛り込んだ、路線の具体的なイメージを浮かべやすい修景コンセプトを設定する。</p>
	推進路線は、 <u>全県公園化構想</u> の下で、 <u>観光地や自然公園、都市公園と市街地を結ぶ路線</u> から選定されてきた。 <u>路線にあるそれらのポイント</u> を意識できるように、コンセプトと資料の作り込みをして欲しい。		
	路線図には、 <u>「美しい宮崎づくり」の美しい場所</u> を表現して欲しい。観光地や景勝地、地域の隠れた景観スポットなど。		
4. 地域WGでの議論について	地域WGの意見のまとめが、植栽地区の維持管理についてのことばかりになっている。	地域WGの意見の中から、植栽地区や寄植、樹木等の要素に関する意見を抽出し、まとめたものである。	<p>地域WGでは、具体的な維持管理の視点だけでなく、<u>地域住民自身がこれから自分たちの地域をどうしていきたいのか</u>といった視点からも、意見を求める必要がある。</p> <p>地域にはたくさんの景観資源が眠っており、それらを発掘し、目に見える形にしていくことが重要である。</p> <p>基本計画の中に地域の意見を幅広く反映させるため、地域WGの中で求めたい意見について、テーマを整理する。</p> <p>地域の隠れた景観資源について地域WGで意見を伺い、それらを発掘し、活用する方法について検討する。</p>
	地域WGの中で、観光振興や地域振興についての意見は出なかったのか。	参考資料のP10~12「その他」に示すように多様な意見をいただいております、基本方針の部分に反映している。	
	「その他」の部分について、第2回WGの中でもっと意見を伺う必要がある。	第2回地域WGの中で、議論していきたい。	
	具体的な維持管理の部分と、観光や景観といった大きなコンセプトの部分に合わせて、 <u>地域住民が自分たちの地域をどうしていきたいと考えているのか</u> 、意見を伺う必要がある。		
	金ヶ浜の眺望を切り開いた取組の写真が全てを表しており、こういった取組を増やしていけるといい。	<u>景観資源は県内にたくさんあり、それらをどう発掘し、活かしていくかが重要</u> である。	
	<u>「美しい宮崎づくり」とは、新しく作るのではなく、元々持っていた美しい部分を県民、県外の方に見える形にすること</u> と考える。		

第2回 宮崎県沿道修景美化推進検討委員会 テーマ別意見取りまとめ (H28.2.10)

項目	意見	助言・回答	まとめ
5. 県民協働のあり方について	協働の枠組みについて、具体的にどのような枠組みになるのか。	協働の具体的な仕組みについては、第3回検討委員会で示したい。 県内で既に協働に取り組んでいる事例があるので、それを参考に仕組みを作り、段階的に県内へと広げていきたい。	県民との協働の方法について、具体的に示す必要がある。 協働の枠組みは、既存のプログラムや取組を生かしたものの、住民や企業が参加しやすいものが望ましい。 協働・担い手の質を向上させる仕組みとして、「沿道修景アドバイザー制度」を検討してはどうか。 県民協働による沿道修景美化については、以下の基本的な考え方の下で、今後の方針を基本計画に盛り込む。 ・既存の取組と、地域がやろうとしていることを尊重し、それを行政が費用面、技術面等でサポートできるような仕組みとする。 ・既存の制度（クリーンロード等）との連携、活用を検討する。
	県民との協働の方法を具体的に示す必要がある。		
	アダプトプログラムやボランティアサポートプログラム、道守活動等は九州では盛んで、そういった既存のプログラムをうまく活かせるが良い。		
	住民や企業が実際に沿道修景に参加できるかどうか重要である。		
	行政の手が届きにくい部分を協働で実施するのも、一つの考え方である。		
	各地区で道路愛護等のボランティア活動が行われている。どの部分を県がやって、どの部分を地域と協働するか、地域に任せるかを整理して示せると良い。		
	地域には活動に積極的な団体、住民はたくさんいる。地域でできることには限界があり、その部分は行政と連携したいと考えている。		
	アクションプランで協働のあり方を示せるような基本計画とすべきと考える。県が土台となり、県民等に手をさしのべるような手法が協働には必要である。		
	協働についても、委員会と事務局とで具体的な提案や方向性を示さなければならない。		
ボランティアの数は多いが、その技術はまちまちである。それを支えられるような、沿道修景アドバイザー制度の創設を検討してはどうか。	専門家との連携など、協働の質、担い手の質を確保するシステムが必要と考えている。第3回委員会で方向性を示したい。		
実際に協働の現場に関わっているが、ボランティア間の技術や知識の差は実感しているし、そこにかかる思いにも差はある。			

第2回 宮崎県沿道修景美化推進検討委員会 テーマ別意見取りまとめ (H28.2.10)

項目	意見	助言・回答	まとめ
6. 基本計画策定後の取組について	基本計画の下にアクションプランを定め、細かく決めていくのか。	策定した基本計画をもとに、個別の詳細設計を行っていく。	<p>基本計画を策定し、その後どう取り組んでいくのかを具体的に示して欲しい。</p> <p>基本計画策定後の取り組み方について、事務局としての考え方と流れを整理する。</p> <div style="text-align: center;"> <div data-bbox="2199 632 2421 695" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">基本計画</div> <div data-bbox="2273 730 2338 835" style="font-size: 2em;">↓</div> <div data-bbox="2338 751 2789 787" style="font-size: 0.8em;">事務局、支庁・土木事務所、地域WG</div> <div data-bbox="2199 856 2421 961" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">実施計画・ 詳細設計</div> <div data-bbox="2273 997 2338 1081" style="font-size: 2em;">↓</div> <div data-bbox="2338 1018 2671 1054" style="font-size: 0.8em;">支庁・土木事務所、県民等</div> <div data-bbox="2199 1094 2421 1157" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">工事着手</div> </div>
	詳細設計はどのような枠組みで行っていくのか。	各出先機関において行うこととしている。	
	詳細設計について議論をする委員会のような場は設けるのか。	枠組みについては第3回検討委員会で示したい。	
	理念をどうアクションプランに落とし込んでいくかが重要で、 宮崎らしさを表現した宮崎モデル として打ち出していけると良い。		
	南九州大学の造園学科は貴重である。連携して造園業の発展にもつなげられると良い。		
	県全体でどのように沿道修景の見直しを進めていくのか、 <u>路線ごとのアクションプランと工程表や、全体の工程表など綿密な計画が必要になると考える。</u>		
植物、景観、環境、社会、美学など、様々な観点が混在しているが、それらを踏まえ路線ごとの差にまで踏み込んだ計画とすることで、 <u>未来へつながる方向性を示すことができる。</u>			

第2回地域ワーキンググループの結果

第2回地域WG 意見取りまとめ (H28.3.15～29)

テ ー マ	ま と め	対 応
(1) 基本目標・基本方針	<p>地域づくりだけでなく、人づくりの視点も取り入れて、地域の活力につなげていけるような目標・方針として欲しい。</p> <p>観光客だけでなく、地元と生活者にも目を向けて、県民運動につなげていけるような目標・方針として欲しい。</p> <p>具体的な表現で、誰の目にもわかりやすい目標・方針として欲しい。</p>	<p>沿道修景を通して、地域の活力や人づくりにつなげていくことを方針の中に示していく。</p> <p>観光客と地域と、双方に目を向けた方針を設定する。</p> <p>わかりやすく具体的な表現で目標と方針を設定する。</p>
(2) 推進路線・修景コンセプト・対応方針	<p>港湾や空港、交通の玄関口につながる路線は最優先で整備を行っていくべきである。</p> <p>修景コンセプトには路線の歴史についても取り入れて欲しい。</p> <p>交通安全と美化の視点を両立させた沿道修景美化を行って欲しい。</p> <p>同じ路線内でも区間ごとに修景の視点を変えて欲しい。</p>	<p>交通の玄関口につながる路線ではより重点的な整備や維持管理を検討する。</p> <p>自然や景観だけでなく、歴史にも目を向けた修景コンセプトを設定する。</p> <p>交通安全の視点と修景の視点を両立できるよう整備・維持管理方針を設定する。</p> <p>路線内でのメリハリを付けた整備・維持管理方針を設定する。</p>
(3) 協働のあり方	<p>地域にやる気があっても、何をすればいいのかわからないので、見本となるものを示して欲しい。</p> <p>地域の祭り等のイベントや、学校と連携することが、協働に人を呼び込むためのポイントになる。</p> <p>専門家からの支援や助言が得られると心強く、いい試みだと思う。</p> <p>情報発信やPRを同時に行っていくことが必要である。</p> <p>協働を前面に押し出しすぎると、押しつけのようになってしまう。</p>	<p>モデル事業等を実施し、今後の沿道修景における協働のあり方を形で示していく。</p> <p>地域のイベントとの連携や、学校との連携など、効果的な協働の進め方を検討していく。</p> <p>効果的なPR方法について検討していく。</p> <p>沿道修景アドバイザー制度を構築する。</p>
(4) 眺望確保の取組	<p>全県的に、植栽の生長や自然の草木の繁茂による眺望の阻害が発生している。</p> <p>全路線的に対応するのではなく、重要なポイントを絞り込んで対応の方が効果的ではないか。</p> <p>民地の草木の繁茂については、どのような対応ができるのかを計画の中で示す必要がある。</p>	<p>眺望阻害区間の中から、自然景観地区など特に整備効果の高い箇所を選定し、眺望の確保を行うこととする。</p> <p>地域や市町村と連携した、民地への対応のあり方について検討する。</p>
(5) 植栽管理全般	<p>歩道の寄植は歩行者に安心感をもたらすものでもあるので、撤去だけではなく残す選択も検討して欲しい。</p> <p>サクラの老木化は全県的に問題になっているので、専門家による診断等を検討して欲しい。</p> <p>樹木の配列や高さのバランスなども、場所に応じた検討が必要である。</p>	<p>今後基本計画の下で行う路線の実施設計の中で、詳細な検討を行っていく。</p>
(6) 様々な連携等	<p>各道路管理者間の連携が必要である。</p> <p>市町村の景観施策との連携が必要である。</p> <p>大学等の教育機関との連携が必要である。</p>	<p>各道路管理者の取組との連携や、関連する施策との調整を図る。</p> <p>大学等と連携した取組のあり方について、検討を行っていく。</p>

第2回 沿道修景美化推進に係る地域ワーキンググループ 意見取りまとめ (H28.3.15~29)

NO	テーマ	意見	ブロック	路線名
1	(1) 基本目標 ・基本方針	新たな価値というのは、漠然としていてとらえづらい。価値は時代でも地域でも変わるのでもっと具体的な表現がいい。	日南海岸	総論
2		地域づくりだけでなく人づくりの視点も入れて欲しい。	日南海岸	総論
3		日本のひなた = やさしいというイメージ。	西都・児湯	総論
4		新しい価値の中には、自然の動植物の保護といった視点も入ってくる。	西都・児湯	総論
5		沿道農地や、地域の営みの風景等への配慮が必要である。	西都・児湯	総論
6		活力ある地域づくりという視点はとてもいい。	西都・児湯	総論
7		基本方針の中には生活者、地元に向けた視点も入れて欲しい。	日向・東臼杵	総論
8		中山間地域の支援や、均衡ある県土の発展という視点も入れて欲しい。	日向・東臼杵	総論
9		観光だけを前面に押し出すと、県民運動につながりにくい。	日向・東臼杵	総論
10		人の優しさだけでなく、自然の優しさも宮崎の魅力である。	日向・東臼杵	総論
11		全国初の試みとしてはじまった沿道修景なので、日本一の沿道修景という目標を掲げてはどうか。	延岡・西臼杵	総論
12		美しい宮崎づくりの美しさとは誰がどういった基準で決めるのか。	延岡・西臼杵	総論
13		美しい宮崎づくりとは、見た目の美しさと同時に、あたたかさ、人情の美といった視点も内包している、県土美化条例とも通じるフレーズである。	延岡・西臼杵	総論
14		基本目標は、誰の目にもわかりやすいものであって欲しい。	延岡・西臼杵	総論
15		日本一の沿道修景を目指して、地域の活力につなげて欲しい。	延岡・西臼杵	総論
69	(2) 推進路線・ 修景コンセプト ・対応方針(1/2)	県の沿道修景がしっかりできていれば、地域にとっての見本になる。	日南海岸	総論
70		コンセプトの中には歴史という視点も取り入れて欲しい。	日南海岸	総論
71		交通安全と美化の両面からの修景が重要である。	日南海岸	総論
131		油津港の臨港道路、産業道路はクルーズ船観光客のバス移動ルートであり、推進路線といっしょに整備することが必要ではないか。空港線のように、玄関口につながる路線は最優先で整備すべき。	日南海岸	国道220号
72		小林の景観のポイントは「みどり」「霧島連山」「屋敷森」である。須木は「水辺の景観」。	都城・霧島	総論
73		安全面、防犯面も常に考えて欲しい。特に通学路等では最重視して欲しい。	都城・霧島	総論
74		沿道だけでなく、民地や周辺景観も合わせて考える必要がある。	西都・児湯	総論
75	民地の植栽を活かした道路修景という視点も必要である。	西都・児湯	総論	

第2回 沿道修景美化推進に係る地域ワーキンググループ 意見取りまとめ (H28.3.15~29)

NO	テーマ	意見	ブロック	路線名	
76	(2) 推進路線・ 修景コンセプト ・対応方針(2/2)	道の駅つの周辺は、東九州道の開通で渋滞が減った。	西都・児湯	国道10号	
77		修景だけでなく、安心できる空間づくり(駐車帯、休憩施設、照明等)も考慮して欲しい。県が設置して協働で管理するといった方法はないか。	西都・児湯	国道219号	
78		横谷峠には歴史があり、路線にとってのウリになると思う。	西都・児湯	国道219号	
79		今後は自転車をターゲットとした修景の取組も考えていくべき。	西都・児湯	総論	
132		西米良村では国道219号による熊本県側からの誘客にも力を入れている。	西都・児湯	国道219号	
80		地域の祭りやイベントをターゲットにした戦略的な修景が必要である。	日向・東臼杵	総論	
133		植栽活動をがんばっている地域にとって、推進路線の指定は励みになるのではないか。	日向・東臼杵	総論	
134		推進路線以外にもやるべきところはあると思うので、推進路線をモデルとして他の路線へも広げて欲しい。	日向・東臼杵	総論	
81		観光バスが走る区間など、同じ路線内でも区間ごとに修景の視点(通行車両の目線の高さ、観光客向けか地元向けか、等)を変えていってはどうか。	延岡・西臼杵	国道10号	
82		沿道修景の原点に立ち返っての全般的な見直しが必要である。	延岡・西臼杵	総論	
83		国道218号の高千穂バイパス区間の茶色の横断防止柵は、草が絡むと大変見にくく、白色の方がいい。	延岡・西臼杵	国道218号	
84		国道218号の高千穂バイパス区間では横断防止柵部分の防草工事を実施する。柵の色は景観配慮型で茶色としている。	延岡・西臼杵	国道218号	
85		道路修景は景観の主役ではなく、周囲の風景を見せるための額縁として機能するものとする。周囲の自然や、人々の営みの風景を見せるために、不要なものは撤去していくことも必要である。	延岡・西臼杵	国道218号	
86		自然の美しさだけでなく、暮らしの美しさにも目を向けていって欲しい。	延岡・西臼杵	国道218号	
87		高千穂町の玄関口の部分のシバザクラの植栽はとてもいい。	延岡・西臼杵	国道218号	
88		県道延岡インター線では、春はカワツザクラとナノハナが咲くが、それ以外の時期は花がないのが問題である。	延岡・西臼杵	県道延岡インター線	
89		県道宮崎空港線のように、県道延岡インター線も延岡の顔としてシンボルとなるような修景を行って欲しい。	延岡・西臼杵	県道延岡インター線	
90		カワツザクラはあまり大きくならないサクラであり、五ヶ瀬川等の周囲の風景が見えるようにあえてこの樹種を選定したのではないか。	延岡・西臼杵	県道延岡インター線	
91		修景の周辺景観との調和については、地域の人たちが作り上げてきた風景というものを優先して考えて欲しい。	延岡・西臼杵	総論	
92		山間の区間では、木製ガードレールの活用など構造物の面にも目を向けて欲しい。	延岡・西臼杵	総論	
16		(3) 協働のあり方(1/4)	人づくりをしたくても人がいないのが地域の困りごとである。	日南海岸	総論
17			地域での沿道修景関係の作業は、危険として敬遠される。	日南海岸	総論
18			酒谷地区は全体としての意識が強く、地域一体での活動ができている。	日南海岸	総論

第2回 沿道修景美化推進に係る地域ワーキンググループ 意見取りまとめ (H28.3.15~29)

NO	テーマ	意見	ブロック	路線名
19	(3) 協働のあり方(2/4)	意識を高めるための有効策が出せないと、協力は得にくい。	日南海岸	総論
20		協働でできることには限界がある(予算、技術、安全性)。どこまでやって欲しいのか、どこまでやっていいのか、線引きが必要である。	日南海岸	総論
21		地域の意欲が増すような仕組みを取り入れて欲しい。	日南海岸	総論
22		地域活動への予算面での支援も必要である。	日南海岸	総論
23		企業が参加し、それを行政がPRすれば、参加企業にとってのメリットになる。	日南海岸	総論
24		若者は仕事にとられ参加しにくい。	日南海岸	総論
25		地域の活動においては、地元業者をもっと頼って欲しい。	日南海岸	総論
26		県道宮崎停車場線は、市の重点景観形成地区として協働による取組を検討している。	日南海岸	県道宮崎停車場線
27		子どもたち、学校が協働の輪に入ってもらえるような仕組みにして欲しい。	日南海岸	総論
28		県から花苗を提供してもらい、国道や県道沿いに地域で花を植える活動を行っている。	都城・霧島	国道223号
29		きずな協働隊という中学校区単位の集まりがあり、協働の受け皿となり得る。	都城・霧島	小林市
30		道の駅の周りなど、身のまわりの範囲から協力していきたい。	都城・霧島	国道269号
31		無理をしても長続きしない、小さなことからコツコツと積み上げていくといい。	都城・霧島	総論
32		協働には造園業団体との連携が必要である。	都城・霧島	総論
33		道路利用者や通行者が協働の輪に入ってもらえるような仕組みが必要である。	都城・霧島	総論
34		国道268号は、植栽樹木は多いが花が少ない印象を受けるので、協働による花植え等ができるといい。	都城・霧島	国道268号
35		綾町花いっぱい運動で年2回花植えの活動を行っている。	都城・霧島	県道宮崎須木線
36		綾町の街中の街路樹の足下への花の植栽を検討して欲しい。沿線町民でも管理できる。	都城・霧島	県道宮崎須木線
37		県道沿いに国富町でフラワーポットを設置したりしている。	都城・霧島	県道宮崎須木線
38		道路の外側の広い範囲との協力が必要である。	西都・児湯	総論
39		行政が地域の中へ入って行って、協働に取り組んで欲しい。	西都・児湯	総論
40	地域の活動への技術的な支援や助言はいい試みだと思う。	西都・児湯	総論	
41	シーニックバイウェイや道守活動との連携も重要である。	西都・児湯	総論	

第2回 沿道修景美化推進に係る地域ワーキンググループ 意見取りまとめ (H28.3.15~29)

NO	テーマ	意見	ブロック	路線名
42	(3) 協働のあり方 (3/4)	情報発信をして見に来る人が増えれば、地域の活動にとっての励みになる。PR、情報発信は協働とセットで考えるべきである。	西都・児湯	総論
43		まずは沿道の住民に沿道修景を理解し、協力してもらうことが協働のスタートになる。	西都・児湯	総論
44		住民の意識の醸成が最も重要である。行政の人間にとっても同じ。	西都・児湯	総論
45		宮日新聞の前田豪氏の連載で沿道修景が取り上げられており、協働の事例もあった。	西都・児湯	総論
46		道の駅周辺はスタッフで整備しており、道守活動にも参加している。	西都・児湯	国道10号
47		花がうまく育たなかったりすることもあるので、専門家からの助言があると心強い。	西都・児湯	国道10号
48		道の駅つの周辺は町と道の駅で連携して景観整備を行っていくこととしている。	西都・児湯	国道10号
49		地域はやる気はあるが、何をすればいいのか、何ならしていいのかわからない。	日向・東臼杵	総論
50		地域のやる気をうまく吸い上げて活用して欲しい。	日向・東臼杵	総論
51		植栽活動等に、地元の造園業者からアドバイス等を受けている。	日向・東臼杵	総論
52		人集め、特に若者が集まらない。	日向・東臼杵	総論
53		祭り等のイベントと連携すると人も集まりやすいのではないかと。	日向・東臼杵	総論
54		地元協力会でモミジの植栽・維持管理を行っている。	日向・東臼杵	国道327号
55		造園協会が市のアダプトプログラムで花壇管理をしている。	日向・東臼杵	国道10号
56		目立つ場所の花植えなどは、協働で実施してPRしてはどうか。	日向・東臼杵	国道10号
57		協働は自然発生的なものであり、前面に出しすぎると押しつけに感じる。	日向・東臼杵	総論
58		地域が盛り上がるような施策が必要である。	日向・東臼杵	総論
59		地域の活動の最大のネックは高齢化、若手の不足であり、新しい人が入ってこないと活動の継続自体が難しい。	延岡・西臼杵	総論
60		地域の活動に助成をするような制度があるといい。	延岡・西臼杵	総論
61		企業は直接関係する部分(河川から取水していれば水系の山への植林等)での活動は積極的だが、それ以外の部分は余りやっていない。具体的な話になれば、OB会としても協力したい。	延岡・西臼杵	総論
62		地域の活動はメンバーが固定化され新しい人が入ってこないで、手のかからない宿根草や多年草を活用している。	延岡・西臼杵	総論
63		今回のワーキンググループに参加して初めて沿道修景の取組を知った。もっとPRをして認知度を上げていけば、協働への参加にもつながると思う。	延岡・西臼杵	総論
64		沿道修景をもっとPRすれば、通行者も沿道の風景を気にするようになり、意識の醸成にもつながる。	延岡・西臼杵	総論

第2回 沿道修景美化推進に係る地域ワーキンググループ 意見取りまとめ (H28.3.15~29)

NO	テーマ	意見	ブロック	路線名
65	(3) 協働のあり方(4/4)	子どもたちから見て、沿道修景がどのように見えているのかを、絵に描かせてみてはどうか。	延岡・西臼杵	総論
66		県道延岡インター線では、ボランティアによる除草やサクラの植樹、施肥等が活発に行われている。	延岡・西臼杵	県道延岡インター線
67		協働の中には、建設業協会等も巻き込んでいくと大きな戦力になる。	延岡・西臼杵	総論
68		学校や子どもたちを協働に巻き込んでいくことで、将来につながる長期的な取組になる。	延岡・西臼杵	総論
135	(4) 眺望確保の取組(1/2)	海側の植栽の生長、雑草の繁茂で眺望が阻害されている。	日南海岸	国道220号
136		県道都井岬線の駒止の門そばは、植栽はいいが、民地のスギが生長し海側の眺望を阻害している。	日南海岸	県道都井岬線
137		民地の部分に行政がどこまで関われるのか、計画の中で明記しておかないと動きにくいのではないかと。	日南海岸	総論
138		民地については、沿道修景のできる部分と、地域との連携や協働で対応する部分とで線引きをしてはどうか。	日南海岸	総論
139		だん竹や雑草の繁茂により、鬼の洗濯岩の眺望が阻害されている。	日南海岸	国道220号
140		バスと普通車では目線が違い、見える風景も違う。	日南海岸	総論
141		道路沿いだけでなく、道路下の法面、崖のだん竹や雑草が繁茂し眺望を阻害している。地域と連携して除去する取組を行って欲しい。	日南海岸	県道内海加江田線
142		眺望確保の取組は、全路線的にやらなくても、ポイントごとに見えるようにすれば良いのではないかと。	日南海岸	国道220号
143		霧島連山の風景は地域の宝であり、その眺望を阻害するものは極力取り除いていきたい。	都城・霧島	総論
144		国道269号の青井岳周辺は、渓谷の風景が素晴らしいのに、自然樹木の繁茂で全く見えない。	都城・霧島	国道269号
145		車の目線の高さに合わせた樹木の枝打ち等も効果的である。	都城・霧島	総論
146		国、県、市が連携して、加久藤カルデラの眺望を確保する取組を検討している。	都城・霧島	県道えびの高原小田線
147		御池や霧島連山を望む視点場の整備等も検討していきたい。	都城・霧島	国道223号
148		沿道の藪は動植物の住処でもあり、その点も考慮する必要がある。	西都・児湯	総論
149		眺望確保の取組は全路線的でなくポイントを絞った方がいい。	西都・児湯	総論
150		都農町には扇状地の特徴的な地形があるので、車窓から眺望できるといい。	西都・児湯	国道10号
151	海側の眺望確保の取組はとてもいい。	日向・東臼杵	国道10号	
152	眺望確保のために伐開した場所は、その後の定期的な維持管理が必要になる。	日向・東臼杵	総論	
153	自然景観地区周辺での眺望確保の取組も必要である。	日向・東臼杵	総論	

第2回 沿道修景美化推進に係る地域ワーキンググループ 意見取りまとめ (H28.3.15~29)

NO	テーマ	意見	ブロック	路線名
154	(4) 眺望確保の取組 (2/2)	県道日知屋財光寺線は、海側の草や木を撤去すれば眺望が開ける区間がある。	日向・東臼杵	県道日知屋財光寺線
155		眺望確保のための民地の伐採は非常に効果的である。	日向・東臼杵	総論
156		民地の木を切るには地域の協力が不可欠で、地域が切りたいのか残したいのかを確認する必要がある。	日向・東臼杵	総論
157		ダム湖や溪谷の眺望が阻害されている区間がある。	日向・東臼杵	国道327号
158		ダム周辺の駐車帯等は草が茂っており整備が必要である。	日向・東臼杵	国道327号
159		国道327号沿いは除草による川側の眺望確保に力を入れて欲しい。	日向・東臼杵	国道327号
160		ひむか神話街道の県道緒方高千穂線は、棚田の風景が美しい景観資源となっている。	延岡・西臼杵	ひむか神話街道
93	(5) 植栽管理全般 (1/2)	県の花苗の調達システムは見直した方がいい。花の種類や質の違いが反映されにくい。	日南海岸	総論
94		花の植え方や種類等が画一的になっており、地域ごとの個性を出して欲しい。	日南海岸	総論
95		毎年同じことの繰り返しで見直しがされない。	日南海岸	総論
96		枯れている植栽樹木等がそのままにされていると、見映えが悪い。	日南海岸	国道220号
97		ユキヤナギやコブシの花はきれいで、季節感がある。	日南海岸	国道220号
98		地域に根ざした花木(ツワブキやジャカランダ等)というのもテーマ性のある修景につながる。	日南海岸	総論
99		シマトネリコの街路樹はとて素晴らしい。油津～餵肥の区間の連続性を維持して欲しい。	日南海岸	国道222号
100		ツワブキは手がかからないので植栽に向いている。	日南海岸	総論
101		草が伸びているとゴミの不法投棄の温床になる。	日南海岸	総論
102		花苗の調達は、複数年契約が望ましい。	日南海岸	総論
103		昔は、沿道修景の花の苗は、請負業者から県に注文をしていた。	日南海岸	総論
104		国道269号ではサクラの老木化が深刻で、倒木も目立っている。具体的な対策が必要である。	都城・霧島	国道269号
105		サクラの倒木は枝の張りすぎも一因であり、早めの枝抜きが効果的である。	都城・霧島	国道269号
106		サクラの剪定は枝の根元から切らないと、切り口から水が入って病気になったりする。	都城・霧島	国道269号
107		植栽の生長で歩道が日陰になり、滑りやすくなったりしている。通学路ではそういった視点も取り入れて欲しい。	都城・霧島	県道小林えびの高原牧園線
108	街路樹の樹種の選定にあたっては、常緑樹以外の樹種も検討して欲しい。	都城・霧島	県道宮崎須木線	

第2回 沿道修景美化推進に係る地域ワーキンググループ 意見取りまとめ (H28.3.15~29)

NO	テーマ	意見	ブロック	路線名
109	(5) 植栽管理全般 (2/2)	交通量の多い路線、目に付く部分は、年2回の除草では足りない。	西都・児湯	国道10号
110		維持管理にメリハリを付けて、除草回数を増やしたりしていくのも基本計画の目的の一つである。	西都・児湯	総論
111		国道219号の園元バイパスは立枯等が目立ちよくない。土壌が良くないのでは。	西都・児湯	国道219号
112		国道219号の園元バイパスは電線もなく広いスペースがあるので、西都・西米良の玄関口として、将来的に高木化する樹木による植栽を行ってはどうか。	西都・児湯	国道219号
113		国道10号のパンパスグラスは、昔はわざわざ見に行くほど素晴らしかったが、今は寂しい。	西都・児湯	国道10号
114		国道219号は観光地への誘導を意識した植栽をして行って欲しい。連続する高木による誘導など。	西都・児湯	国道219号
115		手のかからないような牧草系の芝生の活用は徒歩や自転車の休憩ポイントとしても有効だと思う。	西都・児湯	総論
116		樹木の添え木は年数に応じて撤去した方がいい。	日向・東臼杵	総論
117		樹木の名盤等も年数がたって朽ちてきているものがある。	日向・東臼杵	総論
118		歩道の寄植は交通安全上必要な箇所もあるのではないか。	日向・東臼杵	総論
119		維持管理を重視し、手のかからない植栽を考えて欲しい。	日向・東臼杵	総論
120		カンナは手がかからないので植栽に向いている。	日向・東臼杵	総論
121		地域に自生する草花を植栽に活用して欲しい。	日向・東臼杵	総論
122		国道327号日向バイパスの植栽は、地元と話し合って決定している。	日向・東臼杵	国道327号日向バイパス
123		ひむか神話街道のスポット修景はいい考えだと思う。	日向・東臼杵	ひむか神話街道
124		植栽地区のサクラ並木は町の文化財にもなっている。	日向・東臼杵	国道327号
125		サクラの老木化が見られる区間は、間引きや植替えを行って欲しい。	日向・東臼杵	国道327号
126		花壇への花植えは、花がない時期が寂しく見える。	日向・東臼杵	国道10号
127		サクラの樹勢悪化には、民地の雑木も大きく影響している。	日向・東臼杵	国道327号
128		シカ等の食害があるところでは、シカが食べない植物の選定という視点も考慮して欲しい。	延岡・西臼杵	国道10号
129	国道388号では、新たな植栽よりも現状の植栽の切戻し、間引き、撤去等による眺望の確保の部分に力を入れて行って欲しい。	延岡・西臼杵	国道388号	
130	剪定が必要な樹種は道路のそばに、剪定してはいけない樹種は道路から離す等、計画的に植栽の配置を行うべきである。	延岡・西臼杵	国道218号	

第2回 沿道修景美化推進に係る地域ワーキンググループ 意見取りまとめ (H28.3.15~29)

NO	テーマ	意見	ブロック	路線名
161	(6) 様々な連携等	道路管理者と道の駅管理者とで連携して取り組んでいきたい。	日南海岸	県道内海加江田線
162		国、県、市町村が連携して取り組んで欲しい。	都城・霧島	総論
163		市町村道、高速道路、直轄国道とも連携した取組が必要である。	都城・霧島	総論
164		市町村の景観条例との住み分け、連携も考える必要がある。	西都・児湯	総論
165		緑化推進木の提供(県緑化推進機構)等、県の他部局の事業との連携も必要である。	西都・児湯	総論
166		県緑化推進機構が、野尻町の圃場で花木の苗木を提供している。	西都・児湯	総論
167		周辺市町村が連携した花のネットワークづくりの構想がある。	西都・児湯	国道219号
168		改良残地を利用した植栽等に県と協力して取り組んでいる。連携、協働を見据えて進めていきたい。	西都・児湯	国道219号
169		市町村との連携には、市町村の施策を理解し、取り入れていくことが必要である。	日向・東臼杵	総論
170		IC内部の修景も重要であり、NEXCOとの連携を計画の中に明記して欲しい。	日向・東臼杵	日向IC
171		国道10号の植栽については、国と連携した取組が重要である。	日向・東臼杵	国道10号
172		ダム湖周りの修景には九電との協力も重要である。	日向・東臼杵	国道327号
173		県道延岡インター線付近では3月にこのはなウォークというイベントを実施しており、毎年多くの参加者がある。	延岡・西臼杵	県道延岡インター線
174		延岡観光協会では3月に花ものがたりというイベントも実施している。	延岡・西臼杵	総論
175		景観行政団体としての市町村との連携が必要である。	延岡・西臼杵	総論
176		各市町村の景観計画等との整合をとる必要がある。	延岡・西臼杵	総論
177		県が打ち出した亜熱帯ベルトパーク構想や、ほほえみ花の国宮崎の取組等も参考にしていきたい。	延岡・西臼杵	総論
178		推進路線以外の路線においては、市町村の協力を仰ぎながら取り組んでいくことも必要ではないか。	延岡・西臼杵	総論
179		宮崎大学に地域資源創成学部ができたことも踏まえて、県内の各大学との連携というのも考えていく必要がある。	延岡・西臼杵	総論